



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パリミキホールディングス

コード番号 7455 URL <https://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 中尾 文彦 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,909	5.3	2,018	186.7	2,447	191.4	1,729	394.7
2023年3月期第3四半期	36,013	7.0	704	-	839	172.5	349	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,134百万円 (84.2%) 2023年3月期第3四半期 1,158百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	34.04	33.56
2023年3月期第3四半期	6.88	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	39,873	30,052	73.6	577.04
2023年3月期	37,371	28,204	73.8	542.74

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 29,341百万円 2023年3月期 27,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
2024年3月期	-	3.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,400	4.2	1,800	145.8	2,310	91.4	1,615	221.8	31.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	56,057,474株	2023年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,209,915株	2023年3月期	5,251,589株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	50,805,788株	2023年3月期3Q	50,806,144株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の経済状況は、経済活動の正常化が進み、物価の高騰も価格転嫁が進展してきた傾向であるという認識も定着し、実質賃金改善の遅れなどはあるものの、景況感はコロナ禍前の水準に戻ってきたものと思われれます。

小売業界におきましても、インバウンド需要の回復が続き、全体を押し上げる状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの国内事業におきましては、夏の繁忙期においてサングラスの販売が好調であり、特にインバウンドのお客様が多かった店舗では、コロナ禍で減少していたサングラス売上が大幅に改善し、売上高の増加に貢献しました。またこの傾向は、期初からサングラスの販売強化に取り組んでいることも功を奏しており、当第3四半期会計期間におきましても前年を上回って推移しております。

海外事業におきましては、概ね売上高は回復基調となり、来店客数も順調に回復しておりますが、販管費は増加傾向にあり、利益を押し下げる形となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高37,909百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益2,018百万円（前年同期比186.7%増）、経常利益2,447百万円（前年同期比191.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,729百万円（前年同期比394.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

〔日本〕

主要子会社の㈱パリミキにおきましては、サングラス売上が引き続き好調であり、売上高は前年同四半期累計期間の実績を上回り改善傾向となっております。また、不採算店の退店や移転統合を伴う出店、改装などは計画的に投資を行っており、1店舗当たりの売上高の向上と収益性の改善に引き続き取り組んでまいりました。しかしながら、建材、工事費用などの高騰もあり、投資回収について慎重に再検討するなど、出店等を精査して進めてきたため、新店（移転を含む）数は当初の計画を下回って推移しており、当第3四半期累計期間では7店舗の出店（当初計画の期末予想は20店舗でしたが10店舗となる予定）となっております。

販管費につきましては、前年に投じていたTVCMなどの広告宣伝費は内容を見直したことで減少し、人件費は賃金を上げる方針で賞与引当金などが増加しておりますが、販管費合計では前年を下回り、営業利益の増加に貢献しております。

また、主に百貨店に展開しております㈱金鳳堂におきましては、インバウンド需要の回復が好調であることで順調に売上高が伸長しており、眼鏡一組単価、客数ともに前年を上回って推移しました。

この結果、国内の売上高は33,465百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益2,082百万円（前年同期比199.4%増）となりました。

〔海外〕

海外子会社におきましては、全ての法人が通常の営業ができる状態となっており、売上高も概ね改善傾向にあり、特に中国法人においては国内の景気が思わしくないものの、売上高は伸長し赤字額は減少しております。しかしながら各法人の販管費につきましては、コロナ禍では抑えられていた経費が元に戻っただけでなく、物価上昇に伴うさまざまなコストの高騰、また人材確保のためのコスト増加など費用が増える傾向にあり、利益を押し下げたため、海外法人合計では営業赤字となりました。

この結果、海外の売上高4,560百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント損失64百万円（前年同四半期はセグメント利益8百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

総資産は前連結会計年度末に比べ2,502百万円増加して39,873百万円となりました。これは主に流動資産における現金及び預金が889百万円、受取手形及び売掛金が485百万円、商品及び製品が365百万円、その他が302百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ653百万円増加して9,820百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が380百万円、未払金が176百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,848百万円増加して30,052百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,369百万円、為替換算調整勘定が227百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月8日に公表しました通期連結業績予想につきまして、修正を行っておりません。

しかし今後、国内外における様々な要因によって修正が必要と判断した場合は、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,858	13,747
受取手形及び売掛金	2,784	3,269
商品及び製品	7,517	7,882
原材料及び貯蔵品	683	639
その他	1,389	1,691
貸倒引当金	△121	△127
流動資産合計	25,111	27,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,620	3,785
機械及び装置（純額）	23	19
工具、器具及び備品（純額）	982	1,200
土地	653	653
建設仮勘定	5	113
その他（純額）	43	32
有形固定資産合計	5,328	5,804
無形固定資産	597	618
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,527	4,349
建設協力金	279	352
繰延税金資産	144	127
その他	1,528	1,664
貸倒引当金	△85	△85
関係会社投資損失引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	6,334	6,347
固定資産合計	12,260	12,770
資産合計	37,371	39,873

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,336	1,717
短期借入金	1,954	1,797
未払金	1,988	2,164
未払法人税等	469	428
契約負債	568	681
賞与引当金	230	268
店舗閉鎖損失引当金	12	1
その他	1,506	1,612
流動負債合計	8,067	8,670
固定負債		
退職給付に係る負債	44	49
繰延税金負債	81	109
資産除去債務	556	605
その他	416	384
固定負債合計	1,099	1,150
負債合計	9,167	9,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	22,799	24,168
自己株式	△8,692	△8,622
株主資本合計	26,837	28,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	320
為替換算調整勘定	517	745
その他の包括利益累計額合計	737	1,065
新株予約権	170	187
非支配株主持分	459	524
純資産合計	28,204	30,052
負債純資産合計	37,371	39,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	36,013	37,909
売上原価	11,504	11,984
売上総利益	24,509	25,924
販売費及び一般管理費	23,804	23,905
営業利益	704	2,018
営業外収益		
受取利息	24	54
為替差益	32	266
受取手数料	7	6
貯蔵品売却益	8	18
協賛金収入	10	30
助成金収入	10	1
その他	100	106
営業外収益合計	195	484
営業外費用		
支払利息	8	7
支払手数料	5	3
その他	45	44
営業外費用合計	59	55
経常利益	839	2,447
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	36	47
減損損失	102	43
店舗解約損失金	2	8
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13	—
特別損失合計	154	100
税金等調整前四半期純利益	685	2,347
法人税等	288	579
四半期純利益	397	1,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	349	1,729

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	397	1,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	100
為替換算調整勘定	728	265
その他の包括利益合計	761	365
四半期包括利益	1,158	2,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,047	2,057
非支配株主に係る四半期包括利益	111	76

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,791	4,222	36,013	—	36,013
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87	93	180	△180	—
計	31,878	4,315	36,194	△180	36,013
セグメント利益	695	8	703	0	704

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて57百万円、「海外」セグメントにおいて45百万円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において102百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,405	4,503	37,909	—	37,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	57	117	△117	—
計	33,465	4,560	38,026	△117	37,909
セグメント利益又は損失(△)	2,082	△64	2,018	0	2,018

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて35百万円、「海外」セグメントにおいて8百万円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において43百万円であります。